

「Catch Your Dream!

～自分と江田島のかかわりを見つめて～」

本単元と関連する9年間で育成する資質・能力

伝え合う力

日時：令和4年11月30日（水）第6校時

1 指導の方向性について

○単元観

【江田島の職業事情について】

江田島市は、広島県南部に位置する人口約22000人の市である。国勢調査によると、年齢別人口比（令和元年）で65歳以上が45%を占めることから、江田島市は「超高齢社会」であり、人口減少も著しく進んでいることが分かる。また、人口流出も発生しており、産業の継続的な発展に課題があると言える。

江田島市の地場産業として、牡蠣づくりや柑橘類の栽培などの第1次産業があるが、第1次産業の生産割合や就業人口は、年々減少傾向にある。また、近年、第1次から第3次産業への形態移行が見られ、江田島も例外ではなく、今後は、地場産業の価値を見直し、「江田島の強み」として再構築していくことが、地域の再興に必要であると考えられる。

また、江田島の地場産業で働く方々を子どもと関わる地域人材として活用することで、江田島のために働く人の想いに迫ることに繋がり、江田島の将来を子ども視点で見つめ直すきっかけになると考える。さらに、江田島で生まれ育った子どもたちが、地域の良さを再認識することで、地域の未来を等身大のアイデアで良くしようとする態度も養うことができると考える。

○児童観（第6学年 19名）

【児童の実態】

本学級の児童は、第5学年で「海」と「食」をテーマに学習を進めた。海の環境や資源を守るために海岸清掃を実際に行ったり、フードロス削減に向けた啓発資料を作成したりするなど、自分達でも取り組めそうなことを中心に実施した。活動には意欲的、協働的に取り組むことができるようになってきている一方、課題を自分なりに見つけたり、課題をより発展的に解決するための見通しをもったりすることには、苦手意識がある児童がいる。（1学期研究アンケート項目②③）

また、探究的な学習のサイクルのうち、情報収集については、復習の手段で収集できるようになってきているが、集めた情報を効果的に結び付けて、よりよい解決策を見つけたり、作成物を改善したりすることに課題があると言える。（1学期研究アンケート項目⑨⑩）

【9年間で育成する資質・能力と関連する実態】

「伝え合う力」…協働的に学習を進める際、自己主張をせず、相手の意見に迎合してしまい、課題が練り上がりにくいという実態がある。また、成果物等を見直し改善する機会も少なく、「表現力」に課題があると言える。

○指導観

【本単元における指導の方向性】

- 単元を通した問いとして「私は、ふるさと江田島とどのように関わっていくか？」を設定し、江田島で働く人々の思いや願いに触れることができる体験的な活動を通して、江田島と児童個人との関わりの中から、自分の将来について考える学習活動を設定する。単元の初めには、前学年での学習や今年度の学習テーマについて意見を交流し、本単元での学習したいことについて考える時間を確保し、児童一人一人が学習への課題意識を高めることができるようにする。単元の第一次として、「江田島にはどのような仕事があるのか？」を考えることを通して、現段階で興味や関心がある職業について意見交流し、江田島で従事することができる仕事や、その独自性について再認識できるようにする。第二次では、「江田島での仕事にはどのような魅力があるのか？」を考えることを通して、職場見学から見てきた「職の魅力」について、相手意識や目的意識を明確にしたまとめ活動に取り組む。第三次では、「魅力を効果的に発信するためには？」という課題に向けて、より多くの人に、江田島で働く魅力を発信できるよう、協働的に学習に取り組む。
- 探究的な学びを実現するために次の2点に留意して指導する。
 - ①本質的な課題解決に向けた「探究のサイクル」の充実
 - 特に、「整理・分析」の時間を充実できるように、課題意識や学習の目的を明確にした上で意見交流をするなど、よりよい成果に向けた協働的な学習に取り組めるようにする。
 - ②学習過程の振り返りと中間評価の充実
 - 単元を通して、定期的に学習の進捗状況の振り返りと、学習の成果に関する中間評価を行い、客観的に学習状況を把握できるようにすることで、児童が自らの学習の改善を主体的に行うことができるようにする。

2 小・中9年間で育成したい資質・能力

	前期 (小1～小4)	中期 (小5～中1)	後期 (中2～中3)
主体性 □やる気 □自主性 □課題発見力	自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。		
	身近な人・もの・ことに進んで関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動している。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動するとともに、他者の考えを受け入れよりよい解決を目指している。
伝え合う力 □表現力 □傾聴力 □対話力	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の意見を受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。		
	自分の考えや思いを、言葉・絵・動作・劇・資料によって、相手に伝えたり、自分の学習を振り返ったり、自分の学習を振り返ることができる。	伝える内容が、相手に分かりやすく伝わるように、目的に応じて資料を作ったり、複数の資料を組み合わせたりして表現することができる。	目的や相手に応じて、伝える内容を吟味したり、資料を再構成したりして、根拠を明確にして適切に表現することができる。
やり切る力 □最後まで □粘り強く	課題解決の過程においてあきらめず取り組み、最善解を導き出すことができる。		
	自分のよさに気付くとともに、目標に向かって頑張ることができる。	自分のよさや可能性に気付き、夢や目標に向かって努力することができる。	自分の特性を生かして、夢や目標に向かって努力するとともに、自己を高めることができる。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標		
「私は、ふるさと江田島とどのように関わっていくか？」を問い続けることを通して、地域を盛り上げるために、様々な「人・もの・こと」が関わり合っていることに気付き、地域の魅力を効果的に発信できる方法を考えるとともに、自らの今後や将来に向けての展望をもつことができるようにする。		
単元の評価規準		
(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
① 地域を盛り上げるために、様々な「人・もの・こと」が関わり合っていることに気付いている。 ② 他教科等の学びをつなげ、目的に合わせて情報収集や情報発信を適切に実施している。 ③ 地域の魅力を再発見し、効果的に発信できたことが、探究的に学習した成果にあることに気付いている。	① 地域と自身の関わりから疑問や課題を見つけ、解決に見通しをもっている。 ② 課題の解決に必要な情報を、手段を選択した上で、多様に収集し、目的や種類に合わせて蓄積している。 ③ 課題解決に向けて、視点や目的に沿って情報を比較し、関連付けて考えている。 ④ 相手や目的に応じて、分かりやすく効果的に表現している。	① 課題解決に向け、自分の強みを生かすとともに、自分の役割に責任をもって探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 自分以外の意見や考えの良さを受け入れたり、活かしたりしながら他者と協力して課題を解決しようとしている。 ③ 探究的な学習を通して、等身大の自分なりの地域貢献に取り組んでいる。

4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】(何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)
ふるさとと生涯にわたって関わる意義とは？



【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)
私は、ふるさと江田島とどのように関わっていくか？



【個別の問い】(授業内で身に付ける知識・技能等)

- 江田島には、どのような仕事があるのか？ ○江田島ならではの仕事の魅力とはなにか？
- より効果的に意見や考えを発信する方法とは？
- 自分との関わりで見つめた「江田島の魅力」とは？ ○ふるさととどのような関わりができるか？

5 単元の計画（全 55 時間）

次	学習活動	知	思	主	評価方法
第一次 （10 時間）	学習の構想		①		行動・発言 ワークシート ループリック
	江田島にはどのような仕事があるのか？		②		行動・発言 ワークシート ループリック
第二次 （18 時間）	江田島の仕事の魅力とは？	①	②	①	行動・発言 ワークシート ループリック
第三次 （27 時間）	江田島の仕事の魅力を効果的に伝えるためには？	②	③	②	行動・発言 ワークシート ループリック
		③	④	③	行動・発言 成果物 ワークシート ループリック

6 本時の展開 (30/55 時間)

(1) 本時の目標

村上農園の「商品札」を構想することを通して、「江田島のものと分かる」や「生産者の願い」などを観点に、出てきたアイデアを比較・検討している。(思考・判断・表現③)

(2) 学習展開

	(番号)児童の学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ●評価
課題の設定	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>○ これまでどのような目標に向かって学習を進めてきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 村上農園さんや、山岡水産さんの見学で感じたことを資料にまとめる。 資料にまとめたり、ロゴを作ったりして、江田島に人を呼びたい。 <p>2 本時の課題を全体で確認する。</p> <p>○ 村上農園さんから依頼があります。みんなで、どのようなものを作成したらよいでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">課題 村上農園さんからの依頼 出荷する鉢に付ける「商品札」のデザインを考えてほしい。 願い：江田島のものと分かる・生産者の思いが分かる</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 単元終末での活動を確認し、学習状況と合わせて振り返ることで、客観的に学習状況を確認できるようにする。 見学先からの依頼を提示し、「実際に使用される」ことを伝えることで、児童の意欲を高める。
情報の収集／整理・分析／表現・まとめ	<p>3 個人思考→グループ思考の時間</p> <p>○ あなたなら、どのような要素を「商品札」のデザインに盛り込みますか？</p> <p>○ 学習班ごとに、意見を集約しましょう。新たなアイデアが出てきたら、付箋でつけ足しましょう。</p> <p>4 全体交流の時間</p> <p>○ グループでまとめた意見を全体で交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 村上農園さんはシクラメンが特徴的なので、シクラメンの花をデザインに入れたらいいと思います。 どこの花か分かるように、会社名を入れたらいいと思います。 村上さんの写真かイラストを入れると、生産者さんの顔が分かるのでいいと思います。 <p>◎ 出てきたアイデアを比べてみましょう。本当に「願い」に合ったデザインになりそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> シクラメンは特徴的だからあった方がいいけど、村上さんの写真はどうか？許可がいるかもしれない。 裏にぼくたちの言葉を載せてもいいかもしれないね。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にアイデアをまとめておくことで、意見交流しやすくする。 Jamboard を使い、個人の意見を付箋に書き出す。 必要に応じて、タブレット端末を使った情報収集をするので、より正確な情報を扱うことができるようにする。 <p>● 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を比較し、関連付けて考えている。(思・判・表③)</p>
振り返り	<p>5 次時の学習へ見通しをもつ。</p> <p>○ 今後の学習は、どのような活動をするかスムーズに進みそうですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日のアイデアをもとに、デザインを実際に行ってみる。 村上さんに、作ったものを見てもらう。 デザインの専門家がいれば、話を聞いてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴールの活動に向けて、どのような活動が必要か順を追って考えることができるように促す。

(3) 本時のルーブリック

目標	村上農園の「商品札」を構想することを通して、「江田島らしさ」と「生産者の思い」などを観点に、出てきたアイデアを比較・検討している。
A	「江田島のものだと分かる」と「生産者の思い」以外の観点も踏まえて、多面的・多角的に情報を比較し、より良いアイデアを考えている。
B	「江田島のものだと分かる」と「生産者の願い」という2つの観点に沿って、情報を比較しより良いアイデアを考えている。
C	「江田島のものだと分かる」と「生産者の願い」という観点に沿って考えていない。

(4) 板書計画

11/30 Catch Your Dream!

課題 どんな要素がデザインに盛り込まれるといいかな？

村上農園さんからの依頼

☆「商品札」を実際に使えるようにデザインしてほしい

条件

- 「江田島らしさ」が表れるもの
- 「生産者の願い」
- 実際に使えるもの

共通する要素

オリジナルの要素

ゴールまで見通し

☆「商品札」を使ってもら☆

↑

↑

配布する振り返り表（例）

日付	自己評価 (◎・○・△)	自己評価の理由